

建築学科

Department of Architecture

■学習・教育目標

テクノロジー分野を中心に建築の計画・実現能力を育成する。

エコロジカルで快適かつ安全・長寿命の建築が求められている現代にあって、本学科では、建築・都市の環境設備計画、構造計画およびその生産・運営管理ができる高度な専門知識・技術を身につけた人材を主として育成する。また、建築学に関する幅広い専門的基礎知識を学び、経済性や生産性を考慮しながら、美しく機能的な建築空間を計画・設計し運営できる能力を育成する。

■キーワード

環境の快適性

建築の安全

建築の長寿命化

科目群の学習・教育目標

建築学科

建築学全般の基礎的能力
建築に求められる、使いやすさや美しさにかかわる建築計画、安全性にかかわる建築構造、快適さや健康にかかわる建築環境の3つの領域を主に学ぶことにより、建築に対する理解を深めることができる。

建築図面・文章などの基礎的表現能力
建築計画・建築構造・建築環境などで学んだ、建築や地域に求められる基本的な内容を、図面や文章などを使つて的確に表現することができる。

建築設計・計画の基礎的能力
使いやすく美しい建築を実現するために、建築空間の用途に応じた機能・構成・意匠などを理解することができる。

都市・まちづくりの基礎的能力
都市や地域を形成している集合体としての建築群の役割や特性について、歴史的な変遷を含めて理解することができる。

建築環境・設備の基礎・応用能力
快適で健康的な建築を実現するために、建築の内外に形成される音・光・熱・空気・エネルギーなどの環境と人間との関連性を理解することができる。さらに、建築環境・設備の知識を活かし、人間の生理・心理を考慮した環境負荷の小さい快適な空間を計画することができる。

建築構造の基礎・応用能力
安全で安心な建築を実現するために、建築の構造的特徴を、安全性の観点から理解することができる。さらに、建築物に生じる力学的現象を把握し、安全性評価と一貫した構造設計を行うことができる。

建築生産の基礎・応用能力
建築の構法や材料などの建築生産の基礎について理解することができる。さらに、再利用・長寿命化などの持続可能な建築の計画・設計をすることができる。

建築CAD・CGの基礎的能力
デジタルメディアを活用した建築空間表現の技術を修得することができる。

分析・考察・提案能力
建築の基礎から応用までの学習過程で得られた知識を確認し、それらを用いて問題を発見し、解決することができる。

プレゼンテーション能力
自分の意図するところや得られた成果を分かりやすく論理的に表現することができる。

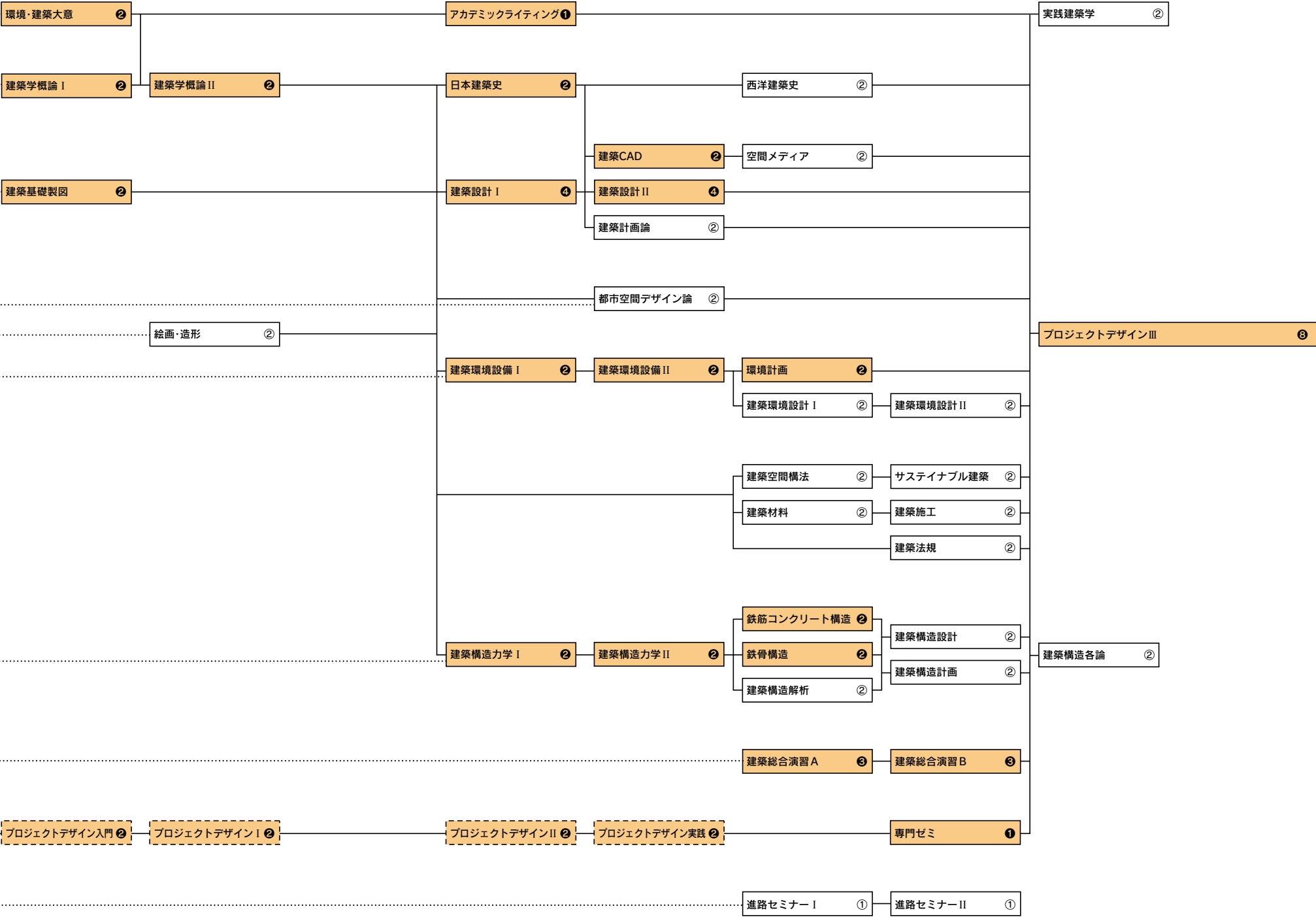
キャリアデザイン能力
建築関連分野における実社会の動向を理解し、大学院進学も含めて将来の進路を幅広く展望した上で、自らの進むべき方向を決定することができる。

1 年 次	
1期 前学期	2期 後学期

2 年 次	
3期 前学期	4期 後学期

3 年 次	
5期 前学期	6期 後学期

4 年 次	
7期 前学期	8期 後学期



① 必修科目 ② 選択科目 ③ 他課程の科目